



# 2016年3月期 決算説明会

2016年4月26日  
株式会社トーメンデバイス

## 免責事項



本資料に掲載されている株式会社トーメンデバイスの業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、事業等のリスクや不確実の要因によっては、大きく変化する可能性があります。従って、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。また、本資料は、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断に基づいて行っていただきますようお願い申し上げます。

I	2015年度 決算概況
II	2016年度 見通し
III	2016年度 重点取り組み

## 連結業績サマリー

国内販売が苦戦する一方、中国市場の開拓、拡販に成功

(単位:百万円)	2014	2015	増減額 (対2014)	増減率 (対2014)
売上高	171,882	<b>189,372</b>	+17,490	10.2%
売上総利益	4,591	<b>4,261</b>	△329	△7.2%
営業利益	2,435	<b>1,907</b>	△528	△21.7%
経常利益	1,681	<b>1,779</b>	+98	+5.9%
当期純利益	1,056	<b>1,177</b>	+121	+11.5%
総資産	54,603	<b>56,656</b>	—	3.8%
純資産	24,637	<b>25,485</b>	—	3.4%
1株当たり純資産(円)	3,612.04	<b>3,735.11</b>	—	—
自己資本比率	45.0%	<b>44.8%</b>	—	—
ROE	4.4%	<b>4.7%</b>	—	—
年間配当金(円)	40.00	<b>50.00</b>	+10.00	+25.0%
配当性向	25.8%	<b>28.9%</b>	—	—

## Positive

- 中国顧客向けCMOSイメージセンサ販売増加
- サーバー向けメモリーは堅調
- スマートフォン、タブレット向け有機ELは好調
- ウェアラブル端末市場に参入

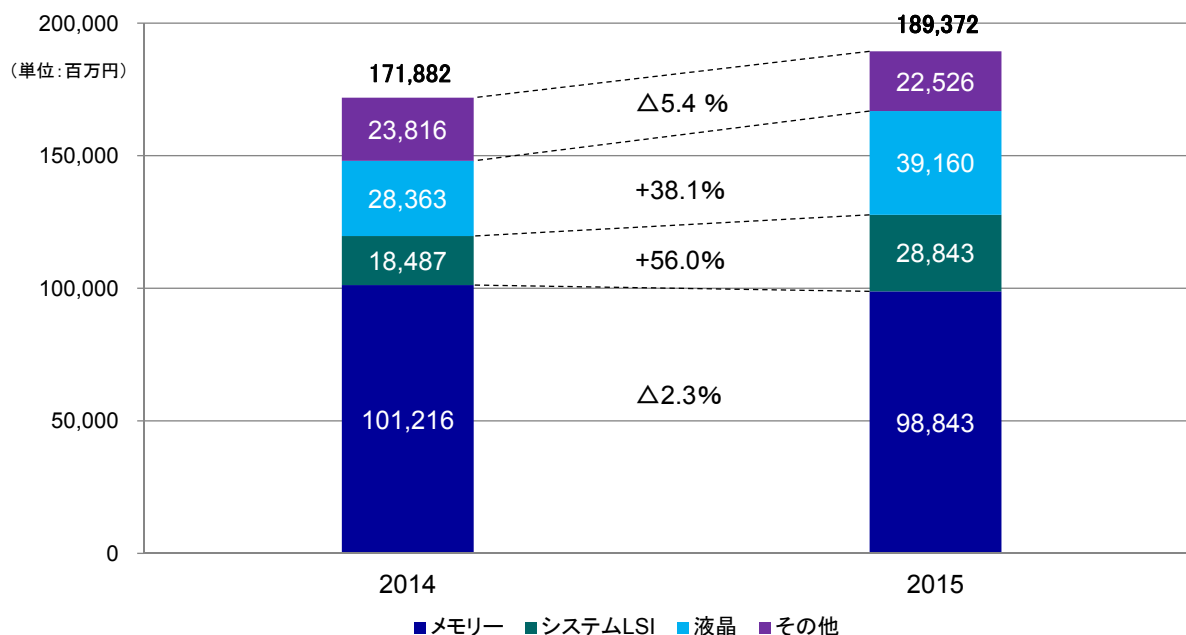
## Negative

- PC需要は低水準で推移
- 日系家電メーカーの苦戦
- PC向けDRAM価格は大幅下落
- 液晶パネル、バックライトLEDの価格競争が激化

4

# 商品別売上

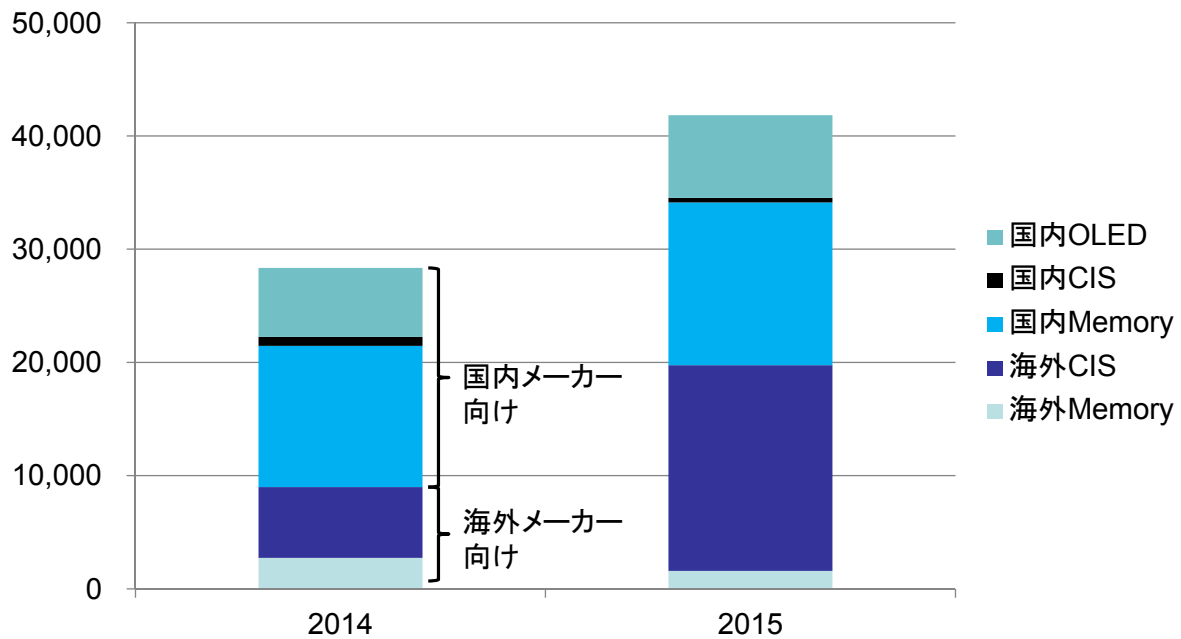
中国顧客向けにCMOSイメージセンサーと液晶パネルを拡販した結果、それぞれ前年比で大幅増



5

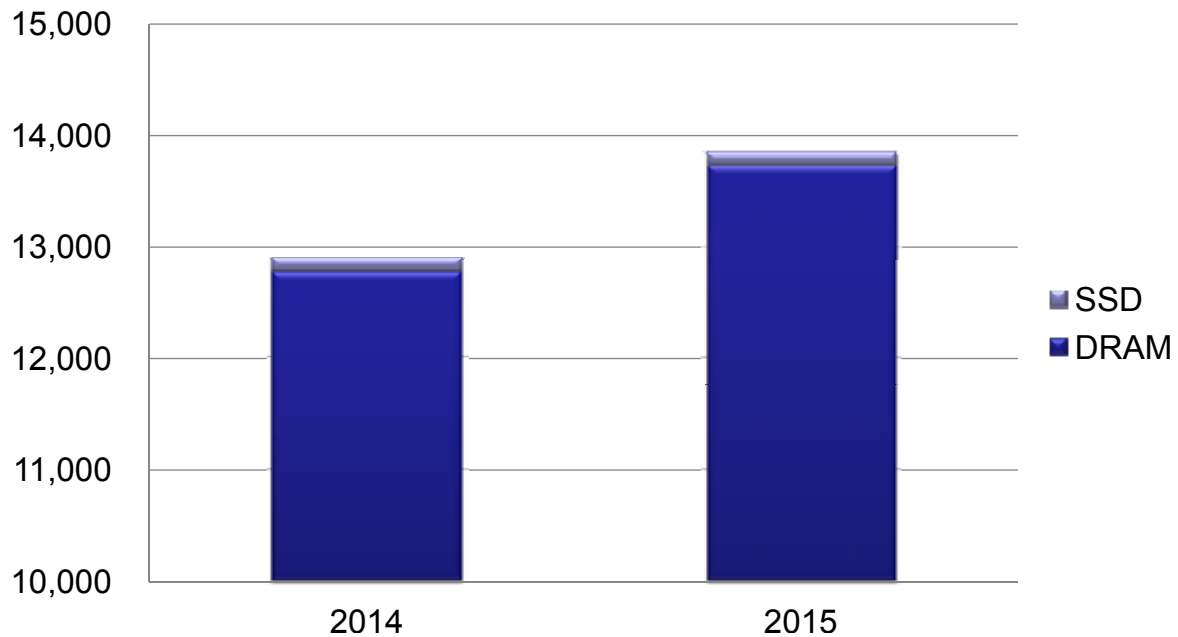
## 中国顧客向けにCMOSイメージセンサを拡販

(単位:百万円)



## サーバー向け売上は堅調

(単位:百万円)

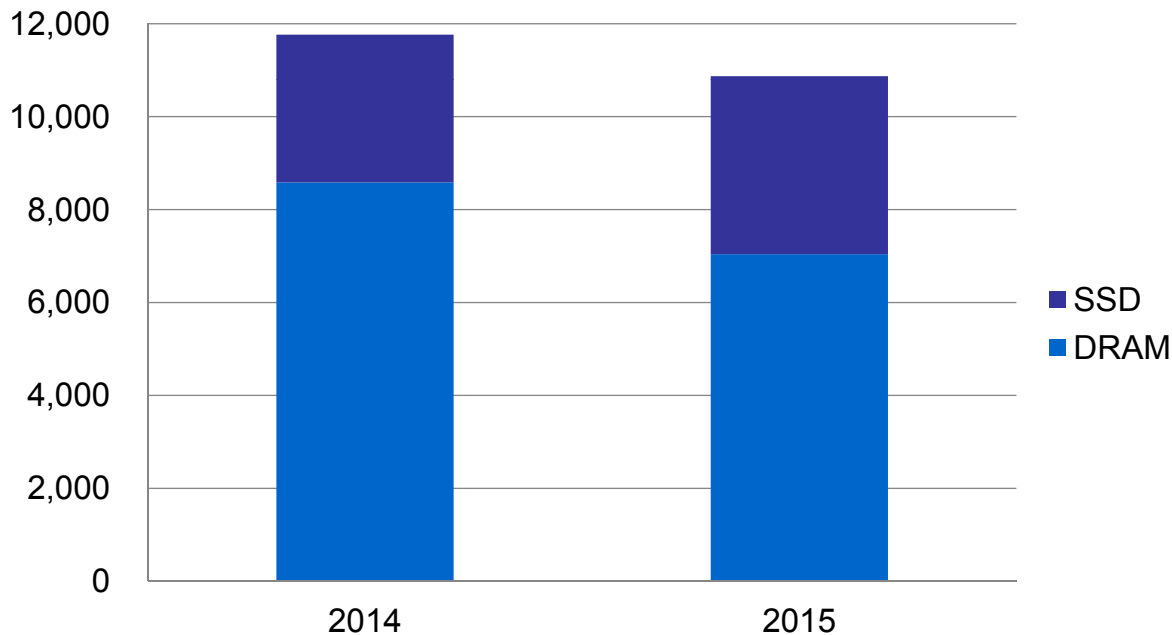


# 当社PC向け売上高 対前年度比較



PC市場の冷え込み、価格の下落により  
DRAMはマイナス、しかしSSD売上は拡大

(単位:百万円)

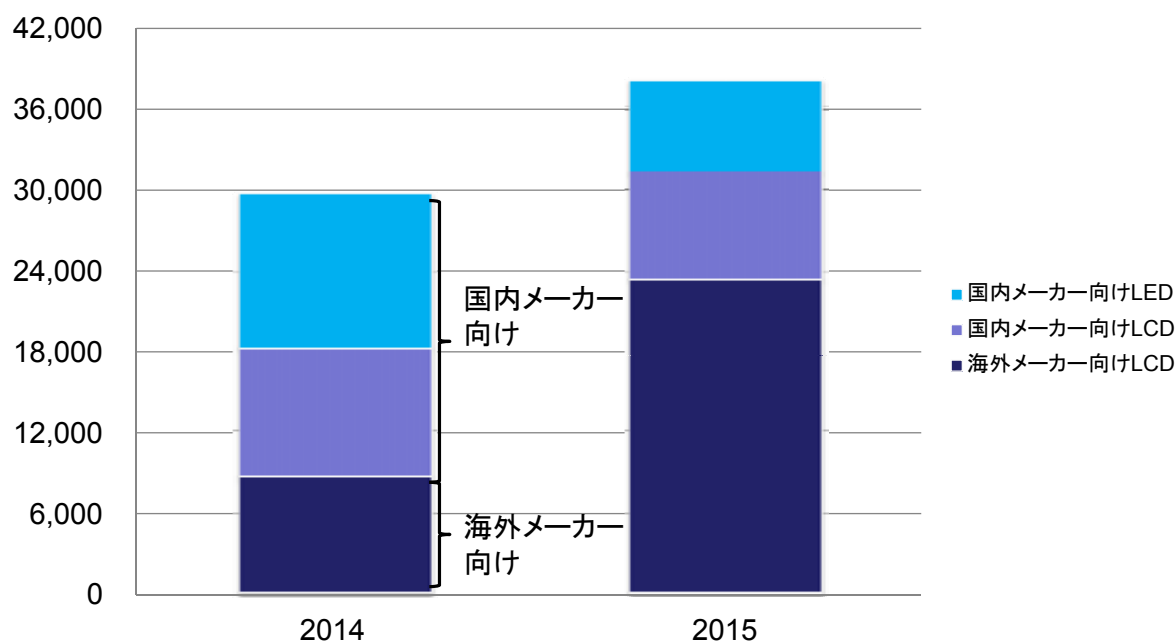


# 当社TV・モニター向け売上高 対前年度比較



中国TV・モニターメーカー向けLCDの売上高が急伸

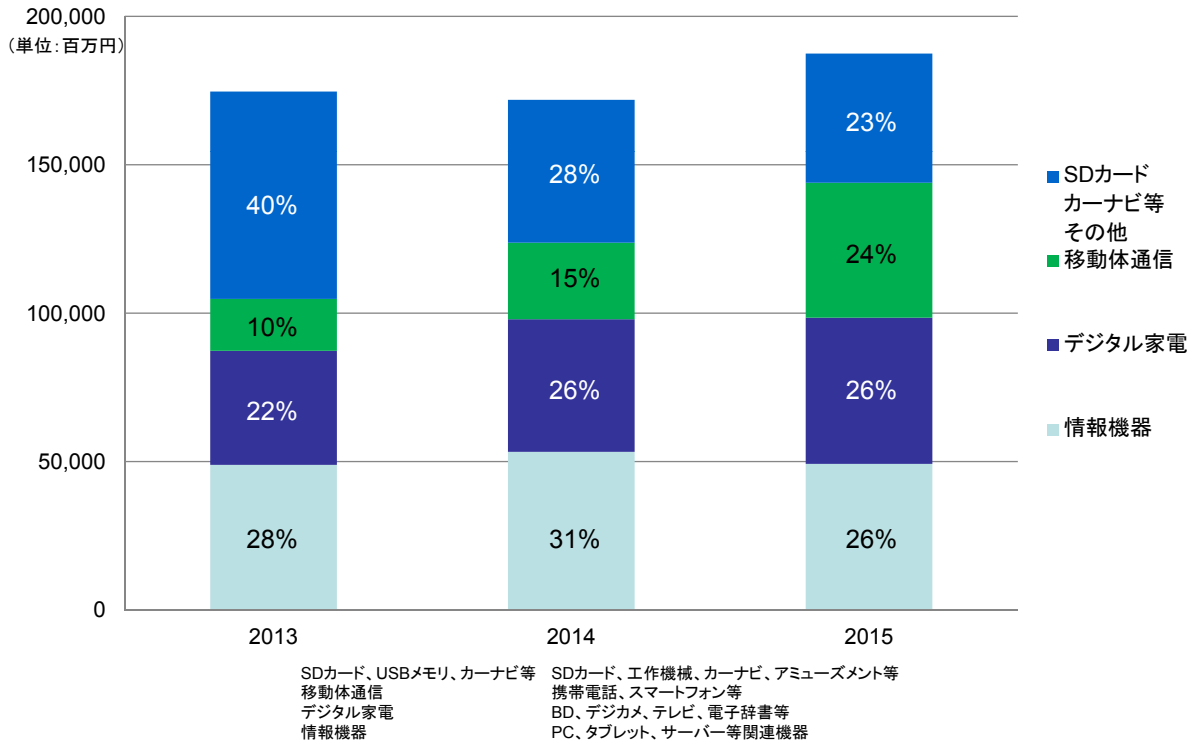
(単位:百万円)



# 用途別売上高の構成推移



## PCはマイナス、スマートフォン向け(特に中国)が伸長



10

# 本日の内容



- I 2015年度 決算概況
- II 2016年度 見通し**
- III 2016年度 重点取り組み

11

中国市場での開拓、拡販活動を行う一方、国内市場は新規市場・領域に向けた取り組みを進めていく。

	15年度実績	16年度計画	増減	前期比
売上高	189,372	<b>170,000</b>	△19,372	△10.2%
営業利益	1,907	<b>1,800</b>	△107	△5.6%
経常利益	1,779	<b>1,400</b>	△379	△21.3%
当期純利益	1,177	<b>1,000</b>	△177	△15.1%
1株当たり 当期純利益(円)	173.14	<b>147.03</b>	—	—
1株当たり 配当金(円)	50	<b>50</b>	0	—
配当性向	28.9%	<b>34.0%</b>		

当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

連結配当性向20～30%を目処としております。

## 2016年度見通し

### Positive

- ・新興国中心にスマートフォン市場はなお成長
- ・オリンピック効果も加わり、4K対応テレビの普及に期待
- ・(スマートフォン搭載中心に)メモリーカード需要の回復
- ・SSD搭載率(PC、サーバー等)上昇への期待

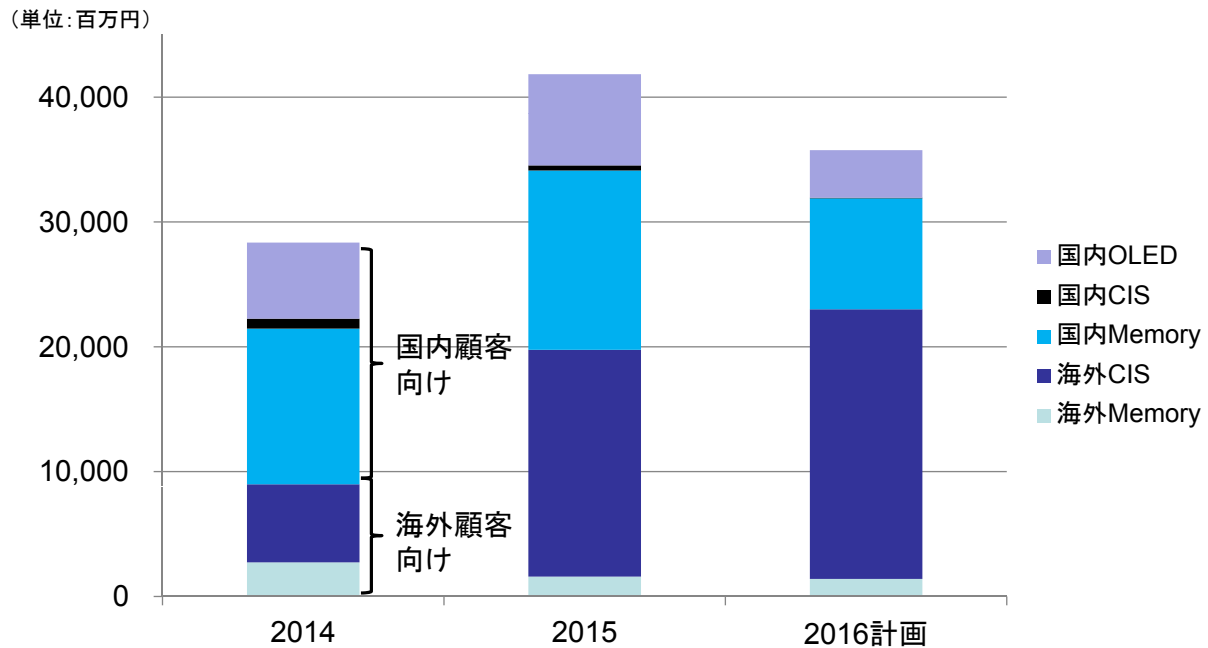
### Negative

- ・PC需要の回復見えず。DRAM価格の底打ち時期の見通しつかず
- ・スマートフォン端末0円販売禁止により、日系スマートフォンメーカーは更に苦戦
- ・国内コンシューマー市場は厳しい状況に

# 当社モバイル端末向け売上計画



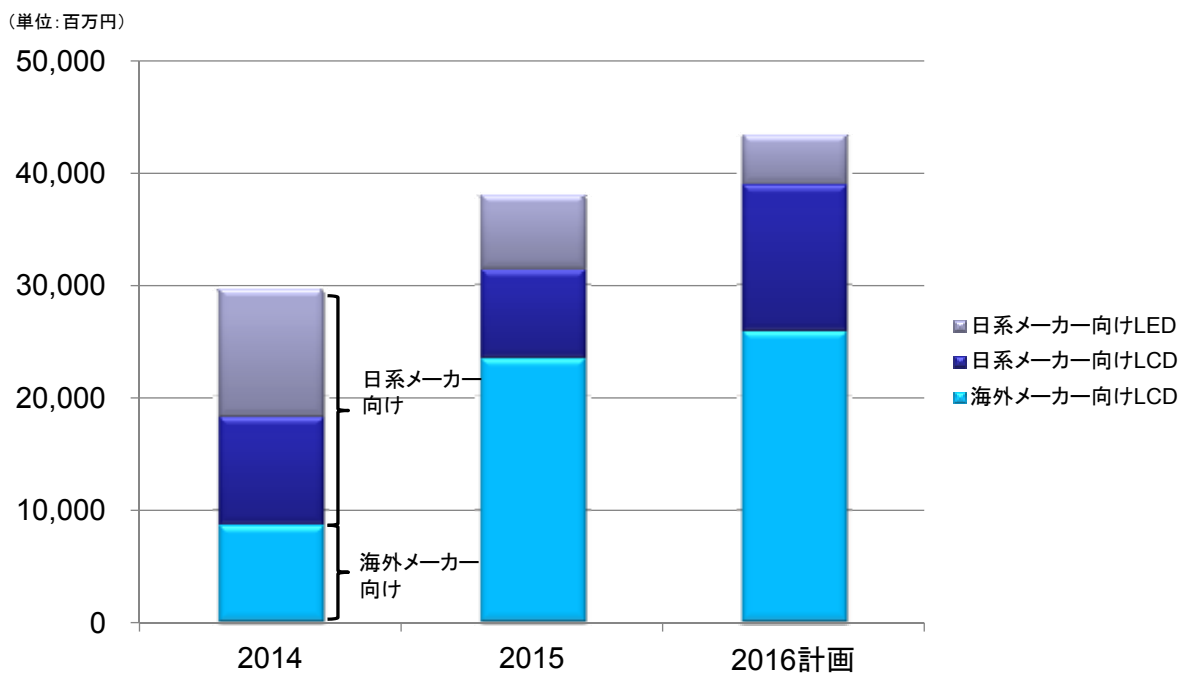
## スマートフォン向けCMOSイメージセンサを更に拡販



# 当社TV・モニター向け売上計画



## 大型、4K対応液晶パネルの販売を促進

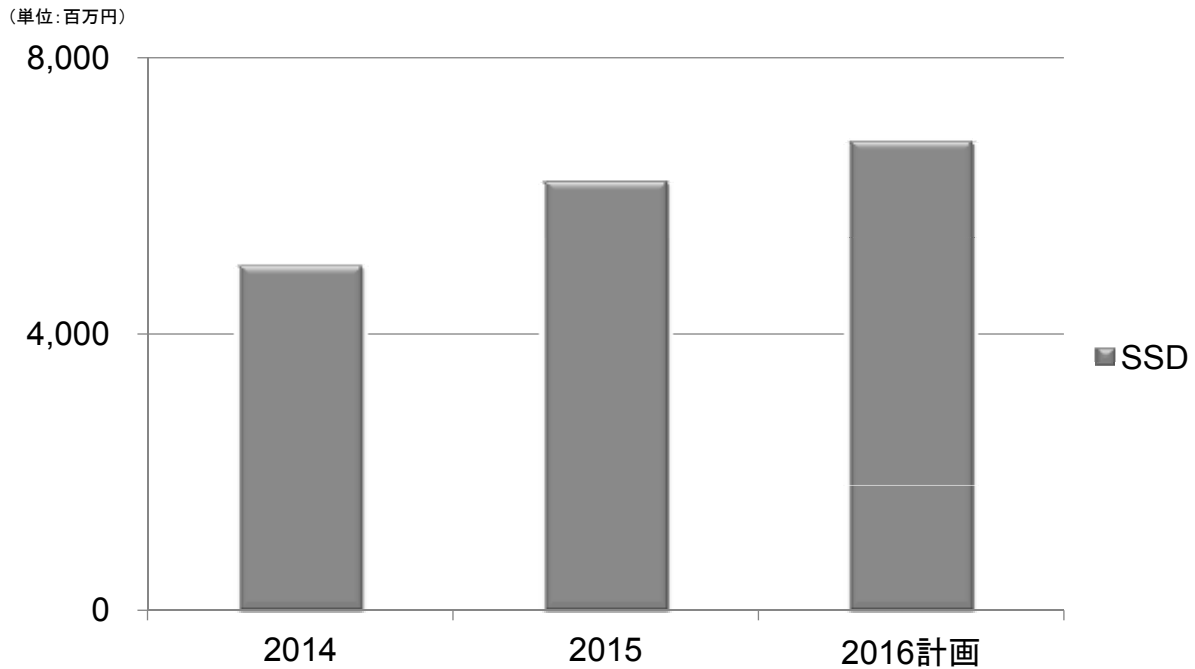




# 当社SSD売上計画



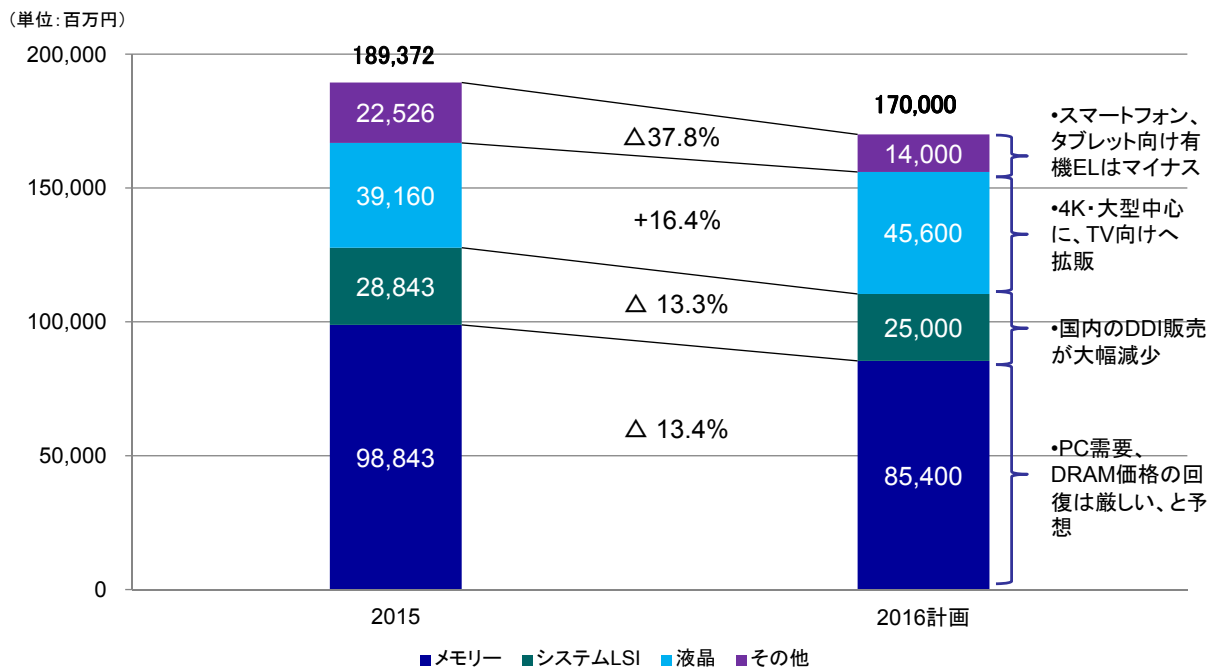
PC、サーバー、エンタープライズ等、  
様々な用途向けに販売促進



# 2016年度 商品別売上計画



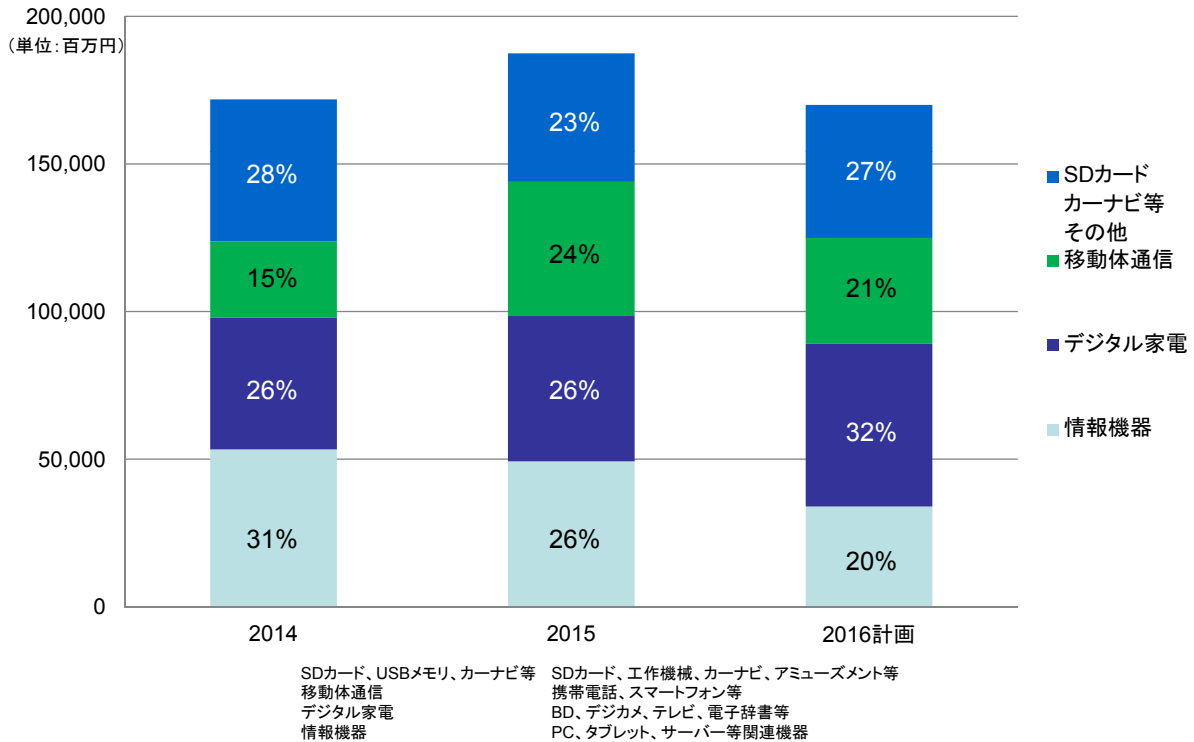
中国顧客向けに、液晶パネルを拡販継続



# 用途別売上高の構成推移



(テレビ向け)4K、大型対応液晶パネルの売上を伸ばす



# 本日の内容



- I 2015年度 決算概況
- II 2016年度 見通し
- III 2016年度 重点取り組み**

## 連結売上高2,000億円の達成

- ・海外ビジネスの拡大、車載及びIoT分野を開拓、SSDの販売促進を進めていき、早期達成を目指す

## 自己資本比率50%到達

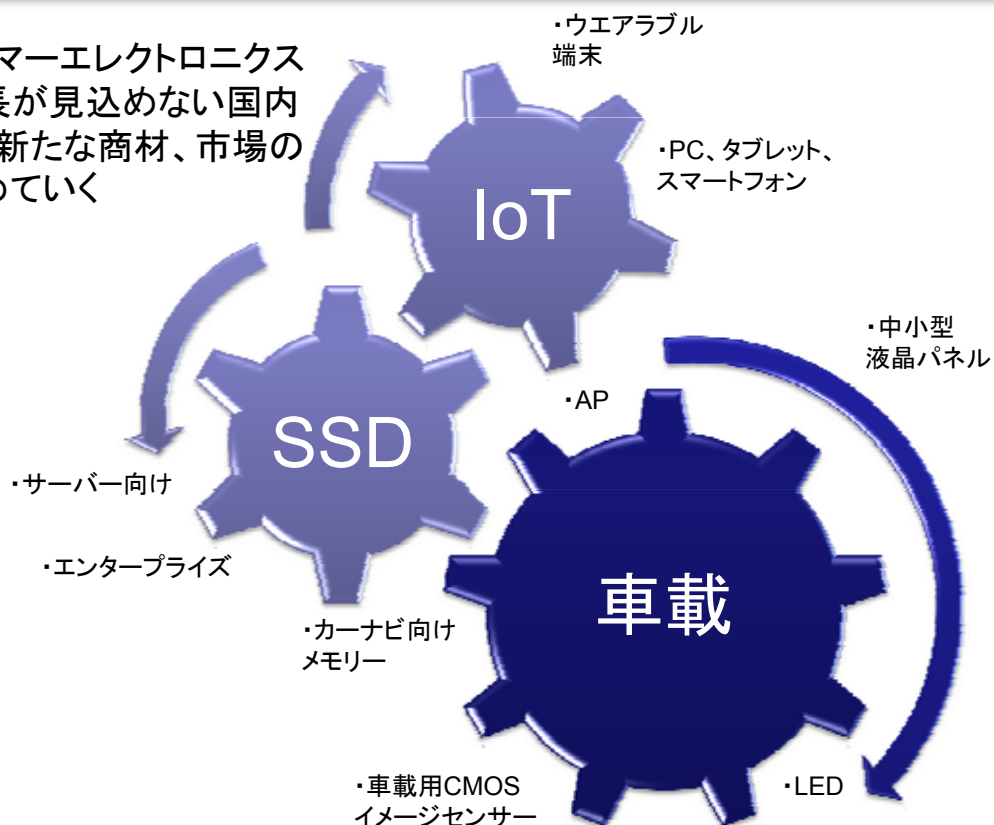
- ・企業体力を強化しつつ、効率的な経営を図る

## ROE5%達成に向けた利益率の改善

- ・中国ビジネスでの収益改善を図る

# 新たな国内市場の開拓

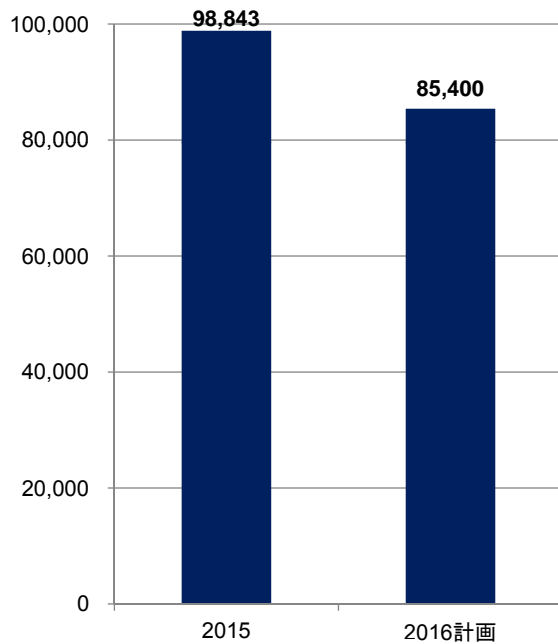
コンシューマーエレクトロニクス分野で成長が見込めない国内において、新たな商材、市場の開拓を進めていく



# メモリー分野



(単位:百万円)



## DRAM

- ・PC需要が落ち込む中、サーバー、スマートフォン向けに注力

## NAND

- ・SDカード需要回復と新型スマートフォン登場による価格下落ストップに期待

## SSD

- ・エンタープライズ向けビジネス拡大

## メモリー全体

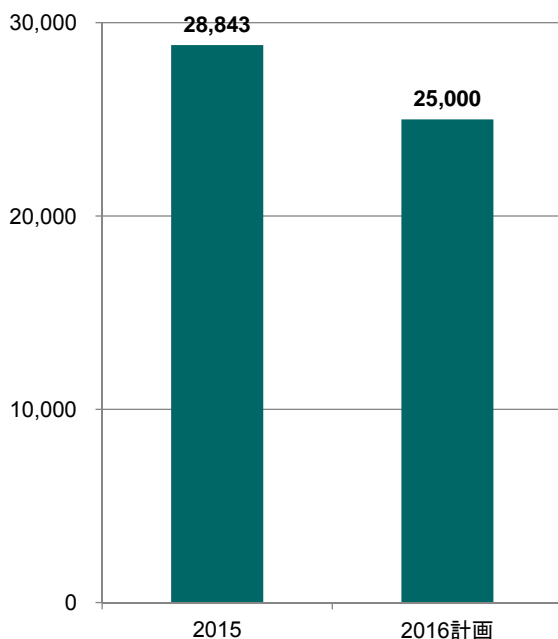
- ・PC、スマートフォン向けが伸び悩む中、堅調なサーバー向け、車載等  
の新規市場の開拓を進める

22

# システムLSI分野



(単位:百万円)



## DDI

- ・テレビ、タブレット向けのシェアを維持

## CIS

- ・伸び代のある中国市場で  
拡販活動を継続

## AP

- ・スマートフォン以外の市場を開拓(ウェアラブル等)

## システムLSI全体

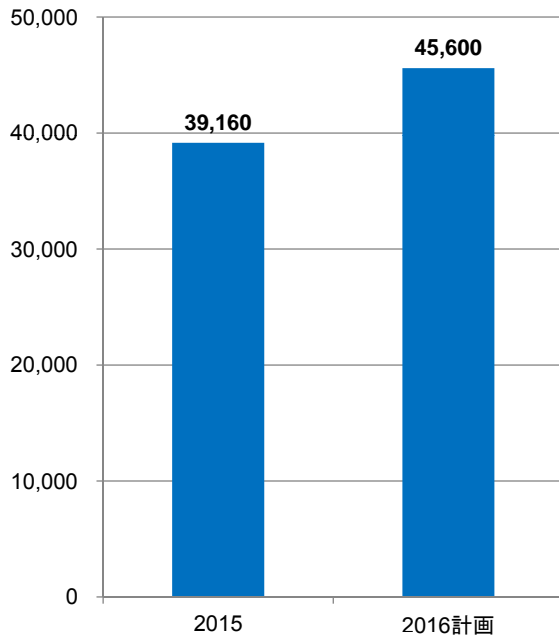
- ・IoT機器向けに拡販

23

# LCD分野



(単位:百万円)



## モニタ

- 供給力、対応力強化により、シェアを維持

## デジタルサイネージ

- 東京オリンピック開催に向けた需要への対応
- 鉄道、バスの広告向けにHalf-LCDを提案

## TV

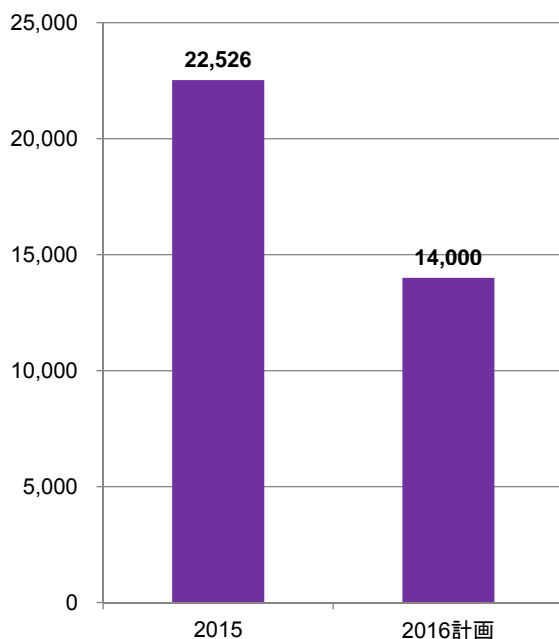
- 4K・大型に対応した液晶パネルを揃え、中国市場で拡販

24

# その他



(単位:百万円)



## 有機EL

- ゼネコン等、家電以外向けに透明有機ELを提案
- カーナビ向けにプロモーション

## LED

- 新規顧客及び市場の開拓と取扱い商材の拡充

## 全体

- バッテリー、MLCCを家電から車載等、他業種へ展開

25

ご清聴ありがとうございました

